



「何故走るか、道がそこにあるから」

高速道路を走る阿保な男は、さも楽しんで走っている。彼は高速道路も走るのには、今回が初めてではない。チャンスは一度一回限りの高速道路のランニングとか言て、阿部野、松原間の高速、阪神の高速、とと高山の高速、都立の高速、全線開通記念の二回も、それもフルで走っている。それだけではない。九州は、倉の高速まで走りに行っている。何が彼を走らせるか、彼が機会があつて後日、その道路をバスまで車まで往來するときは、彼は、この道路を汗をかきながら、走らなければ、チャンスは一度、いまこの道路を走ることが出来ない。この思い出しにひたるのである。そして今度は泉南市より岸和田までのニエキエ高速である。開通は間近。それまでに走りぬけなければならない。機会を狙う。チャンスは来た。高速道路建設に伴う側道を彼はたんねんに何度も走っている。あそここの取付けなうは高速道路に入れる。こはあそこからだ。朝七時では建設作業取りの車が、そして八時では作業開始だ。こんな時間帯に走るとは「工事の邪魔だ、立入禁止」と叱られるであろう。それでは朝八時までに通過せねばならない。彼は朝四時三十分新大阪をスタートする。五時高速道路に入る。外は真暗だ。街の灯があか〜ときれいだ。そのうちに山を切り開いた道だ。景色が見えない。今までの高速道路もそうであった。景色が余り見え

ない。只一本の道は鈍くみ。彼はひたすら走る。最初の日は、新家より岸和田まで、距離は約二十キロだ。すると、次の日は、岡中まで約三十キロだ。どちらも大したことはない。夜が明けた。彼はこのあたりは何処だ、何処も足を止める。途中、芝生張付工事の人に「岸和田は、ここです、と声をかけられる。すると工事人は、「もう道が、何処から来た」と聞く。「泉南市より来た」と答えると、「はい、はい、頑張りなさい」と声をかけられる。「OK、OK」と走る。約二時間でゴールする。三キロは途中、ワザワザと約二十五分であった。これを泉南市より岸和田までのコースを完全ランニングする。「ヘッヘ、ヘッヘ」外にこんなことする奴はあんなに知った。彼は満足である。何処と違ふか、そう阿保である。でないと暗い中、高速道路を、そしてトンネルの中を走らない。

「何故走るか、道がそこにあるから」  
挑戦である。  
或る阿保な男の記録



「孫山マラソン」

だからこそ、また挑戦

牧野源泉

「せめて年に一度はマラソン」という思いから孫山マラソンに参加してきた。今年で三度目。走ろうかからは、栗野原さん、岡田さん、西田さん、川本さん、それに私の五人が出場しました。めでたく、五人とも完走、Tシャツを手にしたことを報告します。

いざなりとそこから始まるわけではありませんが、フルマラソンを走っているという実感は、後半にたつぱりと出てきました。孫山のたつぱいと春の景色を楽しもうという余裕は、とうに消え失せていました。飛脚峠を上りきってから約10km地点までには、3kmと少しなのに、これが何と長感ひうれたことか。「表木を直落してしまつたのだらう。そろそろあと5kmの表示があつてもうすぐうがはずだが。」結局、それがむなしい勝負な錯覚と分つたのは、望まないう方の表示を確認してその地点を通過した時でした。このあたりではもう、さうすることはとてもまじついでに意識してや、と足を前に出すことしかできなせ

確かに、石道から「頑張り」という声援や拍手がありました。都合が悪いことに、それらはすべて、ハム前方を走る女性マラソンナーに向けられている、としかかぬが、ぬいことでした。実際、私が通り過ぎる時には、拍手

はまばうで、音も弱まり、ほとんど終りのかけ。  
 「このままでは、まずい」と思うのが、彼女を抜き  
 走るようには体がついてきません。かといって、  
 引き離されたくもありません(最後は差をかなり  
 広げられましたが)。1km単位でカウント  
 ・ダウンの表示が、恰まり残り5kmからは、  
 早くゴールして楽になりたいという気持ちか  
 ままますます強くなってきました。家のまわりの  
 慣れたコースに置き換えて、あとどこかわらな  
 まで等と対応させながら、必死で歩を前に  
 に進めました。そして何とかゴール。

以上がフルマラソンを走っていることを実  
 感していた過程です。いまつくづく思います。  
 私にはとても、フルマラソンは「走っていたら  
 いつの間にかゴール」というものではありませ  
 んでした。そんなものであったならば、ゴール  
 した時のあの守備感にはなかつたでしょう。  
 同時に湧いてきた嬉しさは、「よく頑張った」と  
 心の中で送る自分への拍手と思われませんが、  
 それもなかったでしょう。途念長のいわゆると  
 おり、マラソンはまさに「挑戦」でした。あるい  
 は、「苦行」との戦い、ないしは「それに負けま  
 い」とする気持の表現であつてもよいかもしれま  
 せん。

いま一つ思うことがあります。途念長がわが  
 わが縁まで同行されて、スタート時とゴール  
 時に、それぞれ適当な場所を選び、相次ぎ  
 重り合せて駆けて来る選手の中から、私達を  
 目ざとく見つけて、あのよう大きな声と身ぶ

りで応援して下さい、たのは、すべてを熟知レ  
 た(市虎)ランナーの心意気であつたケラ、と  
 末尾ながら、記して謝意を表わしたく  
 思います。



お弁当に梅干し。  
 カレーライスに福神漬。  
 オムライスにケチャップ。  
 刺身にワサビ。  
 稲荷ずしに紅生姜。  
 ランニングにストレッチ  
**いわば、法律の**

※おわび

今回は事務局の勝手な都合  
 で機関紙が遅れ、ご迷惑をお  
 かけしましたこと、おわび申し上  
 げます。

事務局より